

ボランティア活動を行う時の

心構えと準備

大前提として、被災地でボランティア活動をする際には被災地に負担をかけないようにすることが基本です。何の準備もせずに被災地に行くとかえって被災地に迷惑を掛けることにもなるのでしっかりと準備をすることが大切です。



持ち物の準備・チェック

災害の種類や活動時期によって、活動時に必要な服装が違います。状況に合わせて服装・持ち物を準備しましょう。もしもコロナ禍が続いていた場合には、マスクや携帯式の手指消毒液なども忘れずに。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 帽子、ヘルメット | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 軍手やゴム手袋 | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン | <input type="checkbox"/> 着替え |
| <input type="checkbox"/> 食べ物・飲み物 | |
| <input type="checkbox"/> 常備薬、目薬 | など |

食事や宿泊先、往復の交通手段の確保

自分のことは自分でやる。「事前に」必要な備えをして、自己完結で被災地に入りましょう。災害が発生して間もない被災地では、物資が少ないため現地での調達はできないことが多く、仮にできたとしても被災地の人に迷惑を掛けることがあります。

ボランティア活動保険に加入しておきましょう

ボランティア活動中に事故に遭うことに備えた保険に加入しておくことも大切です。保険へは、町社会福祉協議会で加入することができます。保険料は500円。年度内有効で、自宅と活動場所までの往復の道のりも補償の対象となります。

加入手続きは、出発の前日までに済ませ、被災地に向かう際には証明書を持参してください。

問 益城町社会福祉協議会 ☎214-5566

コロナ禍が 続いている時の ボランティア活動

被災地の復旧・復興には、災害ボランティアの支援が欠かせません。しかし、新型コロナウイルス感染の懸念がある現状では、災害ボランティア活動により感染を広めてしまう恐れがあります。そのため、ボランティアの受け入れを市町村内在住者や県内在住者に限定している場合もあります。必ず事前の情報収集を行うようにしましょう。

